

2008.3.1 第1074号
ISSN 0913-0217

発行人/長 瀬 清
発行所/北海道医師会
〒060-8627
札幌市中央区大通西6丁目
TEL(011)231-1432
FAX(011)221-5070

北海道医報

2008
3
月号



北海道美の遺産

阿部 貞夫 羊蹄明ける

北海道立近代美術館 所蔵

CONTENTS

北海道医報
平成20年3月1日 第1074号

| | | |
|---|-------|----|
| 指標／平成20年度診療報酬改定 | 西里 卓次 | 3 |
| 北海道医師会公示・告示 | | 6 |
| 医の倫理綱領 | | 8 |
| 報告／平成19年度 第2回郡市医師会 特定健康診査・特定保健指導担当理事連絡協議会 | 三戸 和昭 | 10 |
| 新規指定医療機関 | | 11 |
| 生涯教育シリーズⅩⅧ 認知症／3. 認知症の画像診断 | 蔭山 博司 | 12 |
| 学会報告／日本臨床皮膚科医会 北海道支部 第45回研修講演会 | 小泉 洋子 | 15 |
| 税務相談室／医療法人の役員に対する報酬と、理事長に対する債務保証料 | 中村 孝一 | 16 |
| 随筆／医事・文談 | 平岸 三八 | 17 |
| 北海道医歌人会詠草 | | 18 |
| 会員のひろば／賞味期限切れ | 後藤 義朗 | 19 |
| 鉄砲伝来 | 本間 勉 | 19 |
| 医療と数字(統計) | 大平 整爾 | 21 |
| 私の食道がん手術回想録3 | 浜田 稔 | 22 |
| 郡市医師会だより／市民フォーラム開催後に北見市へ要望書提出、市議会から政府に意見書提出 | 小野寺栄司 | 24 |
| 室蘭市医師会座談会 | | 25 |
| 訃報 | | 31 |
| 医学会・医学講演会等 開催情報 | | 32 |
| 中央32 道南36 後志37 日胆38 空知39 道北39 北見41 道東42 | | |
| 会議室／第20回 常任理事会 | | 44 |
| 売貸医院・医師招聘情報 | | 46 |
| 道医の動き | | 49 |
| 道医師国保の頁 | | 50 |
| 役員訪問／西里卓次 常任理事 | | 52 |
| 季節風／「急患たらい回し」問題と医師不足 | 榊山悠紀士 | 54 |

お知らせ

北海道医師会 育英資金⑦／グループ保険のご案内⑨

電子メールによる会員への情報提供⑳／認定産業医制度 研修会一覧㉑

北海道医師会会員数 8,446名 (-10) うち日本医師会会員数 6,235名 (-8)

| | | | | | |
|----|-------------|----|-------------|----|-----------|
| A | 2,618名 (-5) | B2 | 4,467名 (-1) | C2 | 182名 (-3) |
| B1 | 552名 (-2) | C1 | 98名 (±0) | C3 | 529名 (+1) |

平成20年1月31日現在 () 内前月比

北海道美の遺産

作品介绍 阿部 貞夫 羊蹄明ける

1910~1969(明治43~昭和44)年

東京生まれ。

1967(昭和42)年の作品 21.4×33.3

阿部貞夫は東京日本橋に生まれ、生後まもなく留萌に移住。旧制留萌中学校を卒業後に上京。アルバイトで生活費を稼ぎながら、本郷洋画研究所で学び、ペンキ屋や看板屋で修行した。戦後留萌に戻り製材所で働く傍ら、版画にも心血を注ぐ。1946(昭和21)年から4年間で120点余りの版画を制作。

1950(昭和25)年12月、最初の本版画集を発刊。留萌の港、浜、街、冬山の風物をスナップ写真のように生き生きととらえた。刀跡の細やかな表現は、後に雪の降る情景描写で効果的に使われた。1952(昭和27)年には本版画集第二号「彫波」を発刊。大胆で力強い彫りとドラマティックな構造になっている。

1953(昭和28)年、釧路に転住。版画家・関野準一郎、刷師の平井孝一の指導を受け、三年後(47歳の時)に全道展に初出品。晩年の11年間は札幌で過ごした。代表作の多くは札幌時代の制作だが、留萌や釧路周辺に取材した作品が大半を占める。

(資料提供：北海道立近代美術館)